



AMAGASAKI ROTARY CLUB

DISTRICT 2680

<https://amagasaki-rotaryclub.org/>

例会場：〒660-0881 尼崎市昭和通3-96
尼崎商工会議所 7階ホール

例会日時：月曜日 12:30～13:30

会長：伊口 隆弘
幹事：小林 靖子
公共イメージ委員長：西良 耕一

No. 14

発行日 2025年 12月 1日

本日のプログラム 12月1日

次回例会 12月8日

「レイ・カーツワイルの未来予測」

担当：高岡会員

「年次総会」

担当：会長・幹事

11月17日（第3例会）

1. ソング
(白いブランコ)

2. ビジター紹介
グエン・ホン・ハイン氏（米山奨学生）

3. 出席率報告

会員数 25 (23) 名 出席 17 (15) 名
出席率 68.00% 前々回補正 68.00%

4. 前々回補正（10／27）

柄谷会員

5. 会長の時間

皆さん こんにちは 今日の気温は20℃を超えるようですが、明日の予想は15℃で水曜日には最低気温が5℃となり、その後も同様の最低気温が続くようですので毛布と羽布団でお休みください。ちなみに私は、昔おばあちゃんが打ってくれた綿の重い布団の方が好きです。さて本日は、高市早苗総理大臣の国会答弁についてお話しします。11月7日、衆議院予算委員会にて立憲民主党で外交・安全保障を担当する岡田克也氏が「台湾有事」について質問した際、高市早苗首相が、中国の名を挙げ、「状況次第で『存立危機事態』になり得る」と答弁したことが、いまだに尾を引いています。多くの

メディアで報道されたとおり、高市首相の発言の翌日に中国の薛劍(せつけん)大阪総領事は、自身のXアカウントに「勝手に突っ込んできたその汚い首は一瞬の躊躇もなく斬ってやるしかない。覚悟はできているのか」と恫喝まがいの一文を投稿して物議を醸しました(その後、削除)。更に翌日の11月9日にも、「『台湾有事は日本有事』は日本の一部の頭の悪い政治屋が選ぼうとする死の道だ」との書き込みを行っています。「存立危機事態（そんりつききじたい）」とは、2015年に日本の安全保障関連法（安保法制）で新しく定義された概念で、集団的自衛権を限定的に行使できる条件を指す法律上の用語です。日本と密接な関係にある国が攻撃され、日本の存立（国家としての存続）が脅かされ、国民の権利などが根底から覆される明白な危険がある場合に、必要最小限度の武力行使が認められると定めたもので、これは野党や公明党、マスコミ（朝日新聞など）が「集団的自衛権の全面解禁」に強く反発したため、政府が行使できる集団的自衛権の条件を限定するために作られた政治的な縛りです。実際には「台湾有事を想定したのですが、中国が怒るので曖昧にした」と指摘されています。存立危機事態を認定するには、次の3要件すべてが必要とされます

1. 密接な関係にある他国への武装攻撃が発生
2. 日本の存立が脅かされ、国民の権利が覆される明白な危険。
3. 他に適当な手段がない。（最終手段）

手に手つないで共に歩もう



よいことのために手を取りあおう

としての武力行使) しかし この3条件は曖昧で実際には政治判断でどうにでもなりますし、台湾有事に当てはめると、ほぼ確実に「存立危機事態」となります。また、一方では法的概念が複雑すぎて政治家の失言を誘発しやすいと言われています。そもそも軍事同盟を持つ国が、自国の集団的自衛権を国内法で縛る意味はなく、むしろ日本のように厳しく縛っている国は異例です。集団的自衛権の核心は、同盟国を助けることは最終的に自国の安全につながるという安全保障の基本構造にあります。例えばNATOでは、集団的自衛権を外交、軍事の裁量権として扱い、加盟国が攻撃されたら自動的に反撃できると定めています。日本の場合は、存立危機事態の認定には閣議決定、国会承認、3要件の精査など時間がかかる手続きが必要となり、同盟国は「いざというとき日本は本当に助けるのか?」「法律の手続きで認定待ちなんてして間に戦況が動く」と考えています。敵国はその法のスキマを突いて、グレーゾーンで攻めれば日本は反撃できないと考えていますし、日本は同盟国も頼れません。これは本来、国家安全保障の世界では最悪の選択です。実際、中国は日本の安保法制の文言を細かく研究していて、台湾有事で日本の参戦ラインを読み切ろうとしていると言われています。つまり、日本では国防より国内政治の安定が優先されてきたというねじれた構造が浮かび上がります。高市首相は岸田、石破両氏のような濁した答弁ではなく、かなり明確に答弁しました。その結果、中国外務省が中国人に対して日本への渡航をしばらく避けるように注意喚起しています。大手メディアでは国益を損ねる可能性を報道していますが、私個人としては、中国の暴挙に対する大きな抑止力になったと思います。更にいえば、高市首相が外交戦略として意図的にこの状況を作り出したとすれば、今後の政治手腕に多いに期待したいと思います。皆さんはどうお考えでしょうか

6. 委員会報告

○ 特になし

7. 本日の欠席

柄谷、玉垣、藤原、石塚、川田、長村、中島、吉田、各会員

8. 幹事報告

○米山奨学生 奨学金 贈呈



9. 本日の回覧

○ 特になし

10. SAA 報告

～～～～～～～～～ ジョイフルBOX ～～～～～

*グエン・ホン・ハイン様

ようこそお越しくださいました。

……………伊口・小林、各会員

*ハインさん、ようこそ

例会参加下さいました。 祝、歓迎！！

……………武田会員

*ハインさん米山奨学生の研修、楽しかったですか？

お土産ありがとうございます

……………吉川会員

*米山奨学生グエン・ホン・ハインさん

本日もゆっくりされて下さい

……………池田会員

*14日夜中に四女夫婦に男の子が生まれました。

これで孫は五人になります。お正月が大変です

……………吉川会員

*濱本様先日はお世話になりました

……………吉川会員

*お久しぶりです。

……………森實会員

本日の合計 7,000円

11. スピーチ

「クラブフォーラム」

担当：武田会員

